

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	八女市役所			代表者名	養原 悠太郎
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	DX推進室	連絡先電話番号	0943231294
担当者役職	室長補佐	担当者氏名	高田 雅晴	連絡先E-mail	
住所	834-8585 福岡県八女市647番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	八女市スマートシフトプロジェクト～業務改善・BPR・アナログ規制見直しを通してデジタル人材を育成する～		
概要	八女市において令和7年度より実施する「八女市スマートシフトプロジェクト～業務改善・BPR・アナログ規制見直しを通じてデジタル人材を育成する～」において、30名のDX推進人材の育成を予定しています。DX推進人材のキックオフ研修として、アドバイザーに業務改善とBPRに関してご講演いただきたいと考えております。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年5月26日	講演(実地)	9時00分	11時00分	
				活動時間（分）	120
2-2. 派遣場所	会場名	八女市役所		最寄駅	羽犬塚駅
	所在地	福岡県八女市本町647番地		最寄駅からの交通手段	バス

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	事前に八女市の取組や地域性など詳しく調べ対応いただいたこと。また、庁舎に到着された際も、掲示やサインへの的確なアドバイスもいただきました。講演においても、同じ自治体職員としての経験を十二分に伝えていただき、参加者も自分事としてDXを考えるようになりました。
アドバイザーへの要望事項	窓口フロント・バックヤード改革の実施に向けて、ぜひ都城市さんに学びに伺わせてください。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	20人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	20			

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	現在、業務は年々増え続けており、DXを進めるための時間がとれない、普通の仕事をこなすだけでも時間外で対応している、必要だとはわかっていても、余裕がない、取り組もうとしても周りの理解が得られない、業務の見える化や役割分担の見直しをする時間もない、わからない、やったことがないことへの抵抗が強いという問題が発生しているのが現実的な状況です。この状況を乗り越え、住民目線で、かつ職員にとってもメリットのある業務改善やBPRのために、それを牽引する人材の育成が大きな課題となっています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	参加者が以下を学び、実際に行動に移すこと。 <ul style="list-style-type: none"><li>業務改善やBPRを進めるうえでの市民目線、サービスデザインの考え方と業務への取入れ方法</li><li>時代が変わっていくことが業務に反映できているか、フローを合わせるための視点</li><li>都城市での取り組み、失敗談、成功談、そのポイント、どこを見て考えていくか</li><li>チャレンジする事、失敗を活かすこと、見なおすことの実践</li><li>デジタル部門への相談方法、相談内容。どのように実現を目指していくか</li></ul>

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進人材育成研修という一環で、八女市のDX推進人材(希望者)に対し、都城市のリアルな失敗例(チャレンジすることの大切さ)も交えて、自治体職員目線でマインド、日本全体の情勢と変革の必要性(このままだと詰む)、仲間作りの大切さなど、多くのことを学びました。 参加した職員は自身の業務と紐付けながら研修を受講していました。 ※支所の職員はZoomで参加しています。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進人材育成研修を受けたことで、参加者の意識や行動に大きな変化が見られました。まず、DXの重要性について理解が深まり、自分たちの仕事にどう活かせるか、具体的なイメージを持てるようになりました。※子ども医療証の住所欄を無くす取組は、早速、担当者が実施に向けて動き出しています。 特に効果的だったと感じたことは、都城市の失敗例を学んだことです。失敗を恐れずチャレンジすることの大切さを実感し、新しいことへの抵抗感が和らいだようです。まず、やってみようという雰囲気生まれ始めていると感じています。 DX推進室のメンバーからも、「今まで受けた研修の中でナンバーワンでした!」との声が上がっていました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 実際に現場の行動が生まれたこと。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	ありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 そのまま推進人材への申込に繋がったため、個別のアンケートは実施していません。申し訳ありません。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 各課から上がってきた改善テーマを、DX推進人材と八女市スマートシフトプロジェクトメンバーが協力して解決し、業務改善・BPR・アナログ規制見直しを通じたデジタル人材を着実に実施します。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	この事業の最終的な目指す姿は以下の3点です。5年間かけて実現しようと事業を進めています。 1. 部署間の壁を越えた協働体制を構築し、市役所全体が一つのチームとして機能する組織を作り上げる。 2. 日々の業務を通じて職員が継続的に学び、成長できる環境を整備し、人材育成を組織文化として定着させる。 3. 職員一人ひとりが自分の仕事の意義と価値を理解し、誇りを持って業務に取り組み、その姿勢を次世代に継承していく	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可  掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における**地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」**を数枚程度貼り付けて下さい。

